

日本特殊陶業株式会社 第115期 株主通信

2014年4月1日から2015年3月31日まで



ニットク製品を通じて
世界に貢献したい。



これからもヒラメキと
ワクワクを大切にしたい。



NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業

証券コード:5334

「進化」に向けて

株主の皆様には、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2015年3月期は、日本での消費税増税後の影響がありながらも、堅調な米国経済が売上を牽引し、円安が追い風となり、前期同様、順調な業績となりました。

現在は、長期経営計画「日特進化論」における第2ステージである「新化の3年」の位置づけとなります。「新化の3年」は、「新製品・新ビジネスの立ち上げ」を基本方針としていますが、「新化」を支えるための既存ビジネスの拡大にも注力しています。自動車関連事業では、愛知県小牧市にスパークプラグ用部品の生産能力拡大を目的とした新工場の建設を決定しました。一方で新ビジネスとして、2015年5月に米国のWells社の事業取得(子会社化)も決議しました。テクニカルセラミックス関連事業では、経営資源の最適配分を目的とした「選択と集中」を進めており、当社が必ずしも競争力を発揮できない製品については、縮小・撤退を進める一方で、今後、成長が見込める分野においては、積極的に投資を行っています。一例として、「半導体製造装置部品」においては、市場の成長が見込め、当社のセラミックス技術を活かし、さらに競争力を高められる分野であると判断し、仙台市に本社を置く日本セラテック社の全株式を取得し、子会社化しました。

また、「新化」すべく、新規事業として「環境・エネルギー」、「医療」、「次世代自動車」を中心に経営資源を投入しています。医療分野においては、米国ベンチャー企業のスパイロメトリックス社との提携を決定し、既存のセンサ技術を活かした新製品の創出に踏み出しました。



2016年3月期は、「日特進化論」における「新化の3年」の最終年度になります。最終ステージである「進化の3年」に向け、引き続き「新製品・新ビジネスの立ち上げ」に取り組みますが、グローバル競争に勝ち残るための新市場の攻略、「選択と集中」による事業再構築、さらには、ものづくり現場だけではなく、間接部門も含めた全社生産性の向上、そして、それらの活動を支える「人財」の育成についても積極的に取り組んでまいります。

改革にはタイミングとスピードが大切です。そして、既存の枠組みを勇気を持って超えることも意識しなけ

ればなりません。その際はゼロベースから発想することが重要となります。当社が長い歴史の中で培ってきた良い文化や伝統は残さなければなりません。グローバルの時代に即して仕組みや制度は柔軟かつ迅速に変えるべきと考えています。

現状の業績に満足せず、「危機感」、「使命感」、「スピード感」を持って改革を断行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 長期経営計画「日特進化論」の全体像



代表取締役
取締役社長
社長執行役員

尾堂 真一

▶ 2020年に向けた新たなグローバル生産体制の構築

スパークプラグの世界需要は、新興国を中心にますます拡大していくことが予想されています。当社においてもこの需要に対応すべく、2020年に年産約10億個の生産体制構築を目標に掲げ、積極的に投資を行っています。今後も高品質な製品を迅速にお客様にお届けできるよう、中長期的な視点に基づき、グローバル生産体制の構築を進めていきます。



主体金具
スパークテック
タイランド(タイ)
スパークプラグ用の
新規金具工場

2015年4月より稼働

絶縁体



日特スパークテック
東濃(岐阜)
スパークプラグ用の
新規絶縁体工場

2014年4月より稼働



端子

中心電極



日特製作所(愛知)
スパークプラグ用の
新規中心電極・端子工場

2015年5月に着工開始
2016年3月より稼働予定

▶ 米国の自動車部品リーディングカンパニーのWells社の事業を取得(子会社化)へ

WELLS
VEHICLE ELECTRONICS



Wells社製品

当社は米国の自動車・船舶等の補修用部品を提供するリーディングカンパニーのWells社の事業を取得(子会社化)することを5月8日に決議しました。Wells社は米国のウィスコンシン州に本社を置き、1903年の設立以来、ディストリビューターキャップやイグニッションコイル等、約38,000点におよぶ部品を提供しています。Wells社の事業を取得することで、当社の補修用ビジネスおよび製品ラインアップの拡充、さらに当社の強みのひとつである全世界を網羅している販売ネットワークを活用したWells社製品拡販のシナジー効果も期待できます。

現業ビジネスの強化と新ビジネスの追加により、自動車関連事業の加速度的な発展を目指します。



▶「選択と集中」による事業の再構築

今後、成長が見込まれる「半導体製造装置部品」を強化するために、仙台市に本社を置く日本セラテック社の全株式を取得(子会社化)しました。当社においては、日本セラテック社の「高い加工技術力」、「少量生産への対応力」、「加工から溶射、洗浄までの幅広いサービス展開」を活用でき、日本セラテック社においては、当社の「セラミックス素材からの技術開発力の活用」、「海外販売ネットワークを通じたお客様の拡充およびサポート体制の強化」が期待できます。

当社は、テクニカルセラミックス関連事業において、現行事業の成長性ならびに当社競争力を精査し、当社が必ずしも競争力を発揮できない製品については、縮小・撤退をし、成長が見込める製品については積極的に投資を行うなど「選択と集中」を進めています。今後も経営資源の最適配分に基づき、当社の競争力を高めていきます。



日本セラテック社



日本セラテック社の
半導体製造装置部品



▶医療ビジネスを強化

当社は、既存事業のさらなる発展以外にも、セラミックス技術を活かした新たな「柱」の創出に取り組んでいます。特に「環境・エネルギー」、「医療」、「次世代自動車」を中心に、経営資源を投入しています。医療分野については、これまでも人工骨や骨ペーストなどのバイオセラミックス製品を提供してきましたが、今後の市場の拡大を見込んで積極的な活動をしています。

一例として、米国のベンチャー企業であるスパイ

ロメトリックス社(Spirometrix社)と喘息管理用測定機器に関する資本・業務提携を締結しました。当社のNOxセンサの技術を応用し、喘息診断デバイス向けセンサの開発・製造に取り組めます。本契約を中長期戦略における医療分野の足掛かりとし、医療分野製品のさらなる拡張を目指します。

NGK NTK
スーパーアーク ニューセラミックス
日本特殊陶業

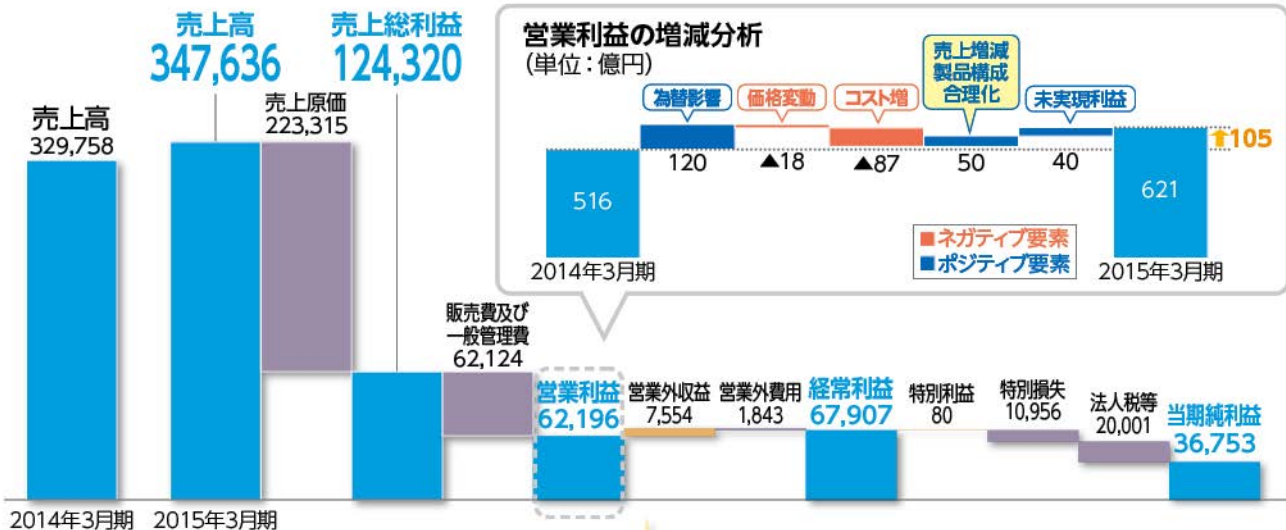
× spirometrix
a breath for health

医療分野拡大への足掛かりとなる提携

財務状況

連結業績ハイライト

(単位：百万円)



※上記グラフは少数株主利益(276百万円)の表示を省略しております。

POINT

2015年3月期は、売上高は5期連続の増収、営業利益は2期連続の増益、経常利益は3期連続の増益、当期純利益は2期連続の増益となり、これら全ての数値は、過去最高を更新しております。なお、独占禁止法違反に係る罰金の支払いや固定資産の減損処理を行いましたので、109億56百万円を特別損失として計上しております。

次期予想

(単位：百万円)

2016年3月期

売上高 **394,500**

営業利益 **67,000**

経常利益 **71,000**

親会社株主に
帰属する
当期純利益 **46,000**

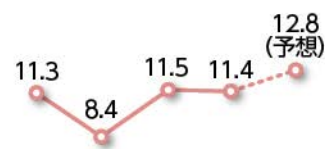
売上高営業利益率 (単位：%)



2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 2016年3月期

ROE (単位：%)

(単位：%)

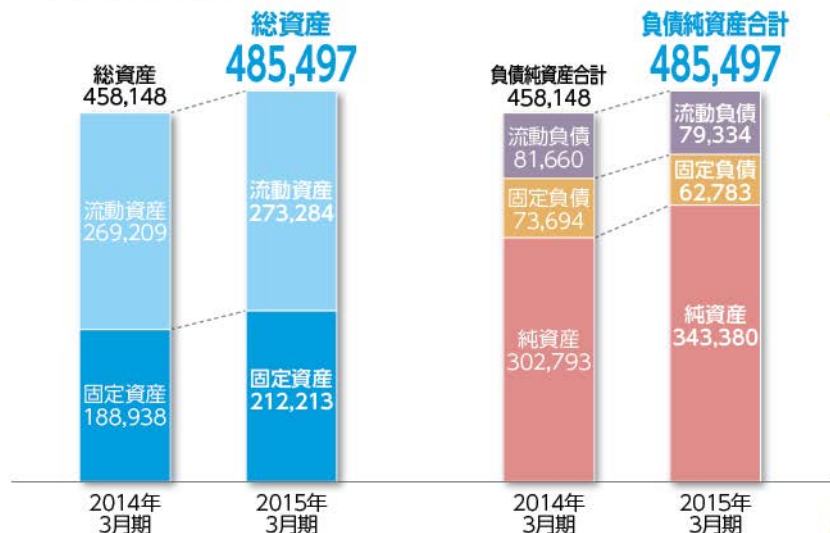


2012年3月期 2013年3月期 2014年3月期 2015年3月期 2016年3月期

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)



POINT

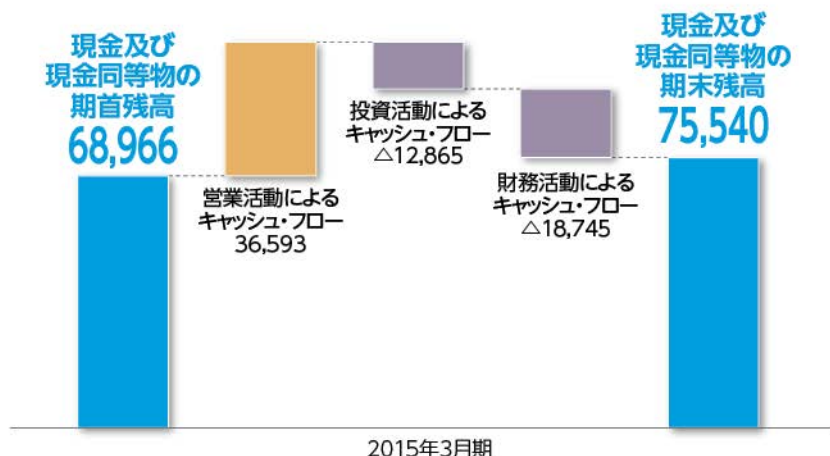
主力の強い自動車関連事業をさらに強化するために、2020年に向けたグローバル生産体制の構築を進めております。そのため、前期に引き続いて2015年3月期においても、積極的な投資を行いました。2016年3月期も、設備投資のみならず新規事業開発など、事業の拡大のための投資を積極的に行ってまいります。

POINT

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営における最重要政策のひとつとしております。このような考え方のもと、直近のみならず、この先の事業環境なども十分に考慮し、年間配当金につきましては、36円とさせていただきます。なお、2016年3月期につきましては、年間42円に増配を予定しております。

連結キャッシュ・フローの概要

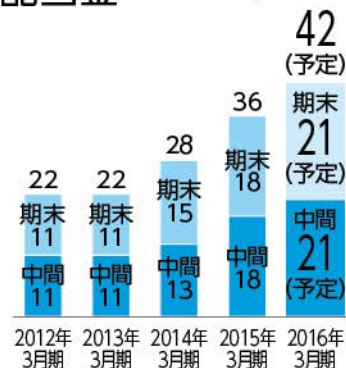
(単位：百万円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額(1,591百万円)の表示を省略しております。

配当金

(単位：円)



詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。

<http://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>



セグメント別業績の概要

自動車関連

売上高 2,927億円
営業利益 683億円

自動車関連事業

主に米国や中国市場において自動車販売が伸び、新車組付用製品も補修用製品も販売が堅調に推移しました。また為替相場における円安基調が追い風となり、売上高増加に寄与しました。これらの堅調な需要に対応すべく国内子会社では新工場が立ち上がり、また海外でも新会社を設立し、着々と増産体制の整備を進めてきました。この結果、前期と比べ売上高は7.7%アップの2,927億94百万円、営業利益は16.0%アップの683億31百万円となりました。

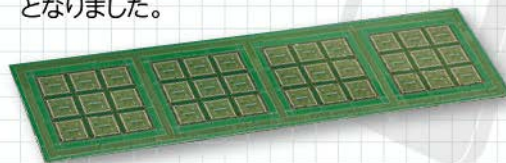


半導体関連

売上高 294億円
営業損失 69億円

テクニカルセラミックス関連事業

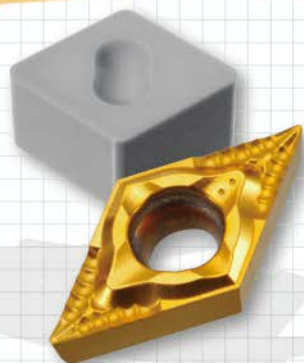
為替相場での円安効果があったものの、パソコンCPU用オーガニックパッケージは協業先への商権譲渡により売上高が減少し、また携帯電話用セラミックパッケージにおいても売上高が伸び悩みました。一方、収益面では生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めてきました。また、非CPU用オーガニックパッケージにおいて、国内の生産委託先へ製造移管を進めてきました。この結果、売上高は294億40百万円(前期比11.1%減)、営業損失は69億8百万円(前期は79億53百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連

売上高 208億円
営業利益 7億円

工作機械向けの製品出荷は、主に欧州や東南アジアを中心に自動車部品加工用が堅調に推移しました。また産業機器製品の出荷も堅調に推移しました。この結果、売上高は208億16百万円(前期比1.2%減)、営業利益は前期と比べ4.5%アップの7億34百万円となりました。



※他に、「その他」の区分として、売上高45億85百万円、営業利益38百万円があります。
※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。



名古屋市「女性の活躍推進企業」に認定、優秀賞を受賞

名古屋市「女性の活躍推進企業」とは、女性がいきいきと活躍できるような取り組みを実施している企業を名古屋市が認定し、その中で特に優れている企業を表彰する制度です。当社は女性活躍推進を「経営戦略」と捉え、女性やその周りの男性も含めて「意識を変える」ことに重点を置き、プロジェクト(活動名:DIAMONDプロジェクト)を発足し、女性の職域拡大のための人事制度改革や全管理職への研修の実施等に取り組んでいます。

今後も女性のみならず、さまざまな従業員が活躍できるよう、制度の充実や社風の醸成に努めていきます。

女性の活躍推進企業 認定・表彰式



表彰式の様子



DIAMOND
プロジェクト
メンバー



社会に根づく日特の

C

S

R



児童養護施設への寄付

メキシコNGKスパークプラグ(株)

同社では、環境や社会に配慮するのと同様に、児童養護施設や高齢者介護施設に寄付をする支援活動を毎年行っています。

2014年も、食料品や衣類、おもちゃを70名の子供たちがいる孤児院に届けました。また、おもちゃやキャンディーが中に入ったメキシコのピニャータ(くす玉人形)で、メキシコの伝統的なクリスマスパーティーを開催しました。

子供たちからの感謝状





役員紹介 (2015年6月26日現在)

取締役



代表取締役
取締役社長
社長執行役員
尾堂 真一



代表取締役
取締役副社長
副社長執行役員
大島 崇文



代表取締役
取締役副社長
副社長執行役員
柴垣 信二



取締役
副社長執行役員
河尻 章吾



取締役
専務執行役員
中川 武司



取締役
専務執行役員
大川 哲平



取締役
常務執行役員
奥山 雅彦



取締役
常務執行役員
川合 尊



社外取締役
大瀧 守彦



社外取締役
安井 金丸

監査役



常勤監査役
松成 慶一



常勤監査役
水野 文夫



社外監査役
佐尾 重久



社外監査役
増田 健一

執行役員



常務執行役員
飯見 均



常務執行役員
濱田 隆男



常務執行役員
鈴木 隆博



執行役員
成田 宜隆



執行役員
天野 孝三



執行役員
石田 昇



執行役員
山崎 耕三



執行役員
時岡 伸行



執行役員
松原 佳弘



執行役員
小島 多喜男



執行役員
田中 穰



執行役員
谷口 雅人



執行役員
松井 徹

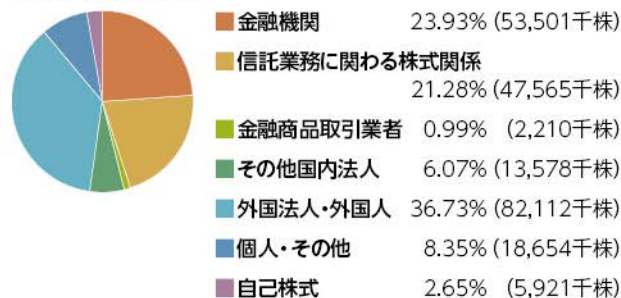
株式会社データ (2015年3月31日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	223,544,820株
株主数	11,675名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	16,752	7.70
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	14,612	6.71
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.34
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,067	5.55
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	11,913	5.47
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541	3.01
全国共済農業協同組合連合会	6,138	2.82
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.81
日本生命保険相互会社	3,563	1.64
野村信託銀行株式会社(投信口)	3,478	1.60

当社は、2015年3月31日現在自己株式を5,921千株保有していますが、上記大株主から除外しております。
持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋(第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.ngkntk.co.jp/koukoku/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック

日本特殊陶業



事業内容や財務情報の詳細は
当社WEBサイトをご参照ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/>



UD FONT



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。